

令和 6 年度使用

小学校用教科用図書研究資料（総評）

【算 数】

教科用図書北諸県採択地区協議会

発行者	総 評	備 考
2 東京書籍	<p>(1) 算数科の目標を達成するために、習熟度に応じた「ほじゅうのもんだい」や単元末の「たしかめよう」等で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。また、学習内容の系統性を意識しながら理解を深められるように、関連性のある単元を連続的に配置するなどの構成・配列の工夫がされている。</p> <p>(2) 学びを整理し深めるノート指導に関して、思考の流れに即したノートづくりや、I C T機器を活用した際のノートの活用例を掲載するなど、今後の学習につながる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。</p> <p>(3) 児童にとって分かりやすくするために、第3学年以降の単元導入には、学校や日常生活との関連を重視した動画コンテンツ「オープニングムービー」を適宜設定することで、児童が学習動機を明確にモチ、学ぶ意義や楽しさを実感しながら主体的に学習に取り組む態度を育てるように配慮されている。</p> <p>(4) 既習事項を生かして、筋道を立てて説明する力を身に付けさせるために、図や式などを用いて思考・判断・表現する活動を基盤とした展開を重視している。また、丁寧な数学的活動の可視化を特長とし、キャラクターの言葉の内容をシンプルに精選していることで、児童が最適な思考力・判断力・表現力を習得できるような工夫がされている。</p>	<p>5 年上 p 126</p> <p>5 年上 p 14</p> <p>5 年上もくじ</p> <p>5 年上</p> <p>p 6, 7</p> <p>5 年上 p 94</p> <p>5 年下 p 31</p>

4 大日本図書	<p>(1) 算数科の目標を達成するために、習熟度に応じた単元末の「たしかめ問題」や巻末補充問題「プラス・ワン」で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。また、関連性のある単元を前後に配置したり、学習内容の系統性、領域のバランス等を考慮したりするなどの構成・配列の工夫がされている。</p> <p>(2) 学びを整理し深めるノート指導に関して、第1学年からノートの書き方例を段階的に掲載し、徐々に表現力も向上させるなど、今後の学習につながる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。</p> <p>(3) 児童にとって分かりやすくするために、第2学年以降の教科書を学年1冊にするとともに、「ふりかえりコンテンツ」や「練習問題コンテンツ」など、充実した適用問題、補充問題を設定することで、児童が学び直しを行いやすく、知識・技能を身に付けることができるように配慮されている。</p> <p>(4) 既習事項を生かして、筋道を立てて説明する力を身に付けさせるために、考えを表現する活動や多様な解決方法を具体的に提示している。また、考え方に焦点を当てたまとめ「発見！考え方」と様々な場面で使える見方・考え方「ひらめきアイテム」を設定することで、児童が思考力・判断力・表現力を習得できるような工夫がされている。</p>	<p>5年 p 36 5年 p 270 5年 目次</p> <p>5年 p 49</p> <p>5年 p 91 5年 p 161</p> <p>5年 p 60</p>
---------	---	---

11 学校図書	(1) 算数科の目標を達成するために、補充的・発展的な課題に取り組むことができる「もっと算数」等で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。また、連続して扱うことで身に付く学習内容とスパイラルを意識することで身に付く学習内容を選別して配置するなど、学びやすい構成・配列の工夫がされている。	5 年 下 p 155 5 年 下 p 17 5 年 下 も く じ
	(2) 学びを整理し深めるノート指導に関して、2 学年から「ノート名人になろう」を設け、表現力を育むノート作りのポイントを掲載するなど、今後の学習につながる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。	5 年 上 p 6, 7
	(3) 児童にとって分かりやすくするために、算数における「見方・考え方」をキャラクター化したものを教科書の適切な箇所に示すことにより、児童が自分の考えを広げたり、新しい考え方を発見したりすることを通して、楽しみながら学習を進めることができるように配慮されている。	5 年 上 巻 頭 5 年 上 p 78
	(4) 既習事項を生かして、筋道を立てて説明する力を身に付けさせるために、言葉や図・表を使った説明などを随所に取り入れている。また、問題解決の場面においてよく使われる見方・考え方を「考え方モンスター」として具現化し、本文中に示したり単元末で振り返ったりして、児童が思考力・判断力・表現力を習得できるような工夫がされている。	5 年 上 p 9 5 年 上 p 88

17 教育出版	(1) 算数科の目標を達成するために、習熟度に応じて練習問題量を調整できる「ステップアップ算数」や単元末の「たしかめよう」等で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。また、関連性のある単元を連続して配置することにより、既習事項を活用しながら習熟を図ることができる構成・配列の工夫がされている。	5 年 p 265 5 年 p 35 5 年もくじ
	(2) 学びを整理し深めるノート指導に関して、ノートを見合う活動を取り入れて、互いの考え方や表現の仕方を学べるようにするなど、今後の学習につながる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。	5 年 p 147
	(3) 児童にとって分かりやすくするために、各単元のまとめとして 4 コマ漫画や穴埋めでまとめる場を設定したり、つまづきやすい問題をクローズアップしたりすることで、児童が学んだことを意欲的に振り返り、「考えるヒント」を見て自分で考えることができるように配慮されている。	5 年 p 226 5 年 p 124 5 年 p 227
	(4) 既習事項を生かして、筋道を立てて説明する力を身に付けさせるために、単元前半で見出した数学的な見方・考え方を「つながるミカタ」で顕在化し、後半の学習で活用できるようにしている。また、巻頭の「算数で使いたい見方・考え方」では既習内容をキャラクターの言葉で表現し、思考力・判断力・表現力を習得できるような工夫がされている。	5 年 p 149

61 新興出版社啓林館	(1) 算数科の目標を達成するために、習熟度に応じた「もっと練習」や単元末の「学びのまとめ」等で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。また、児童が苦手としやすい単元を分割して配置し、年間を通して定着を図られるようにするなど、スパイラルを意識した構成・配列の工夫がされている。	5 年 p 258 5 年 p 14 5 年もくじ
	(2) 学びを整理し深めるノート指導に関して、2 学年から「算数ノートをつくろう」を設け、振り返りに役立つポイントを示したノート例を掲載し、今後の学習につながる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。	5 年 p 8
	(3) 児童にとって分かりやすくするために、1 単位時間の学習内容をページ末で区切り、「めあて」と「まとめ」を明記するとともに、キャラクターを用いて「数学的な考え方」を明確化して掲載することで、児童が主体的に学習に取り組み、対話的な学びが充実するように配慮されている。	5 年 p 89
	(4) 既習事項を生かして、筋道を立てて説明する力を身に付けさせるために、見通しを立てたり、根拠をもって考えを進めたりする内容がキャラクターの言葉やマーカーで強調されている。また、図や表を使って考えを説明する数学的活動を主とした特設単元を系統的に位置付け、児童が思考力・判断力・表現力を習得できるような工夫がされている。	5 年 p 53

116 日本文教出版	<p>(1) 算数科の目標を達成するために、基礎的・基本的な内容の定着を図る「学習をたしかに」、習熟度に応じた「算数マイトライ」等で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。また、計算などの基本的な内容は前の時期に配列し、児童が苦手としやすい単元は後ろの時期に配列するなどの構成・配列の工夫がされている。</p> <p>(2) 学びを整理し深めるノート指導に関して、筋道を立てて考える力や表現力を育てるために、思考過程や友達の考えを書き示したノート例を掲載し、今後の学習につながる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。</p> <p>(3) 児童にとって分かりやすくするために、第2学年以降の巻末に問題解決の過程や、算数で使いたい「見方・考え方」を示したシートをつけることで、児童が学習を進める際の着眼点に気づき、主体的に学習に取り組み、思考力・判断力・表現力を身に付けることができるように配慮されている。</p> <p>(4) 既習事項を生かして、筋道を立てて説明する力を身に付けさせるために、随所に数学的な「見方・考え方」が提示されている。また、キャラクターの言葉を用いて問題解決の見通しを立てたり、「学習をたしかに」では単元の内容を用いて理由や方法などを説明する問題を扱ったりするなど、思考力・判断力・表現力を習得できるような工夫がされている。</p>	<p>5年 p16</p> <p>5年 p 265</p> <p>5年 もくじ</p> <p>5年 p 6</p> <p>5年 巻末</p> <p>5年 p 237</p>
------------	---	--